

ひごまると学ぼう！熊本城

復興のシンボル「天守閣」



ひごまる

「天守閣」ってなに？

お城の中心にある一番高い建物で、江戸時代は「天守」と呼ばれました。

熊本城の木造の天守は1877年に焼けてしまいましたが、1960年に鉄骨鉄筋コンクリートで建てなおされました。この建物を今は「天守閣」と呼んでいます。



まちのどこからでも見える、熊本のシンボルだね！



熊本城の天守閣のとくちょうは？

大天守と小天守がくっついた形をしています。一番のとくちょうは、黒い見た目です。壁に「下見板」という黒い塗料を塗った板を貼っています。屋根の端の大きな白い三角形は「破風」といって、建物を美しく見せています。屋根は瓦ぶきで、一番上には「鯨」と呼ばれる飾りがついています。



屋根の上につけている鯨

天守閣の基礎情報

構造	鉄骨鉄筋コンクリート
高さ(石垣の上から鯨まで)	約31m
屋根	瓦ぶき
外壁	下見板張、一部漆喰塗り
鯨の大きさ	大天守119cm、重さ約100kg 小天守86cm、重さ約70kg

2016年の地震で天守閣はどうなったのかな？



地震でどんな被害があったの？



地震後の天守閣

一番上の瓦はほとんど落ちて割れました。天守閣の中は、柱の根元がこわれたり、コンクリートの壁や床がひび割れたりしました。石垣も一部がくずれて、ふくらむなどの変形がありました。2017年に復旧を始め、4年後の2021年におわりました。

建物がくずれない工夫って？

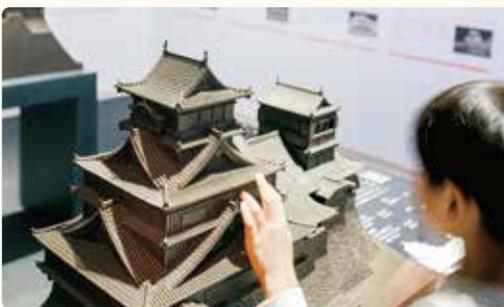
今回の復旧では、地震の揺れをおさえて建物を守る「ダンパー」など、最新技術を取りいれました。



小天守に設置された「クロスダンパー」

だれでも楽しめる天守閣

さわれる模型や音声ガイドアプリなど、外国から来た人や体に障がいがある人も展示を楽しめるようになっています。また、エレベーターが新しくつけられ、だれでも最上階の景色を見ることができるようになりました。



天守閣のさわれる模型



ゲームやクイズができるタッチパネル



エレベーター

新しくなった天守閣に行ってみよう！



模型へのプロジェクションマッピング



一番上の階からの景色